

データが切り開く 奈良の観光産業の未来

～観光DXって何、これから始めるデータ活用へのヒント～

令和6年
3月18日(月)
13:30-16:30
(13:00 開場)
事前登録必要

このようなお悩みはありませんか？

- ①観光DXにおける成功事例を知りたい
- ②DX推進を任されたが、何から手を付けてよいかわからない
- ③観光データの活かし方を知りたい
- ④奈良を訪れるインバウンド客の実態を知りたい



佐竹正範氏



山田拓氏

第1部【基調講演】

観光戦略におけるデータ活用の重要性とこれから データで切り開くこれからの観光戦略

佐竹正範氏 公益社団法人 福井県観光連盟
山田拓氏 株式会社美ら地球

第2部

奈良県におけるデータ活用事例紹介

橿原市観光協会がデータを取り入れる最初の一步
松井昌宏氏 一般社団法人橿原市観光協会
長野充博氏 一般社団法人橿原市観光協会

第3部

奈良県における観光実態の報告

インバウンドをはじめとした奈良県の現状をデータから見える化
細井正善氏 株式会社地域創生 Co デザイン研究所

※登壇者は現時点での予定であり、都合により変更となる場合があります。

選べる2つの参加方法

※ご参加・視聴には事前登録が必要です

1 会場参加

奈良県社会福祉総合センター大ホール
〒634-0061
奈良県橿原市大久保町320番11
定員300名程度(先着順)

2 ライブ配信視聴

Zoomライブ配信

参加対象

奈良県内で観光に携わる方、または今後携わる予定の方

事業者・団体、DMO、観光協会、自治体職員、学生など

Webエントリーフォーム

<https://forms.gle/adCDg6YjnjNKZS89A>

応募締め切り：令和6年3月14日(木)



主催：奈良県観光局 ならの観光力向上課
受託：株式会社地域創生 Co デザイン研究所
令和5年度奈良県観光データ「見える化」推進事業

フォームでのエントリーができない方はメールでご連絡ください

＜お問合せ先＞ 奈良県観光データ「見える化」推進事業事務局(株式会社地域創生 Co デザイン研究所) Email: tourismsupport@west.ntt.co.jp

第1部 データ活用の重要性と将来 登壇者紹介



佐竹 正範氏

公益社団法人福井県観光連盟 観光地域づくりマネージャー

平成12年にヤフー（株）に入社。広報、ブランドマーケティング、CSR等を担当。東日本大震災以降は、ITを活用した地域活性化を担う地方創生プロデューサーとして自治体をサポート。平成27年より令和5年まで、内閣府などが後援する「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会」の幹事長を務め、地域商社協議会の運営。平成28年から、総務省の地域おこし企業人として北海道美瑛町に出向。政策調整課長補佐として地域DMO「丘のまちびえいDMO」の立ち上げを行い、同DMOのCMO（Chief Marketing Officer）として従事。独自のCRMの構築を行うなどしてデータオリエンテッドなDMO戦略を推進し、観光によるまちづくりを展開。令和2年に紀尾井町戦略研究所（株）に転籍。令和3年8月から公益社団法人福井県観光連盟に出向。福井県の観光地域づくりマネージャーとして、令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、観光で「稼ぐ」地域づくりを推進する福井県の観光振興の旗振り役として活動中。



山田 拓氏

株式会社美ら地球 CEO

奈良県生駒市出身。内閣官房地域活性化化道師、総務省地域力創造アドバイザー、一般社団法人山陰インバウンド機構山陰DMOアドバイザー、イナカを巡る外国人向けプラットフォーム SATOYAMA EXPERIENCE を運営。外資系コンサルティング会社を退職し、足かけ2年にわたる世界のツーリズムを学ぶ旅を経て、飛騨古川に移住。里山や民家などの現存する地域資源を活かしたツーリズムを主とした数々の地域再生ソリューションをプロデュース。事業開始10周年を期に、令和2年7月、街全体をホテルのように捉え、点在する空き家などに再投資し、滞在交流拠点として運営することで、街並みや暮らし、文化の維持・継承を目指す分散型ホテル構想（SATOYAMA STAY）を加え、地方部の新たなツーリズムサービスの創造に取り組む。近年は、地方部各地でのツーリズム・ビジネスの立上げ支援や人材育成プロジェクトに従事する。著書に「外国人が熱狂するクールな田舎の作り方」（新潮新書）がある。

第3部 奈良県における観光実態報告 登壇者紹介



細井 正善氏

株式会社地域創生 Co デザイン研究所 主任研究員チーフ Co クリエイター

通信キャリアにて研究開発、IT企業にて研究開発や新規事業立ち上げ、戦略企画を経験後、令和元年よりNTT西日本に入社。観光を起点として持続可能なまちづくり実現に向けた取り組みを推進し、福井県坂井市三国湊エリアにおいて町まるごとオーベルジュをコンセプトとする観光まちづくり会社「Actibaseふくい」の事業企画・立ち上げ調整、誘客促進と日本各地の魅力を国内外に発信するサービスの開発、データを観光地経営に活用するための仕組み構築など、各地域の課題に応じたアプローチで複数のプロジェクトを対応中。持続可能な観光を世界的に推進するグローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（GSTC）の持続可能な観光の専門家資格“the GSTC Professional Certificate in Sustainable Tourism”認定。

Webエントリーフォーム

<https://forms.gle/adCDg6YjnjNKZS89A>

応募締め切り：令和6年3月14日（木）

フォームでのエントリーができない方はメールでご連絡ください

<お問合せ先> 奈良県観光データ「見える化」推進事業事務局（株式会社地域創生 Co デザイン研究所） Email：tourismsupport@west.ntt.co.jp



主催：奈良県観光局 ならの観光力向上課
受託：株式会社地域創生 Co デザイン研究所
令和5年度奈良県観光データ「見える化」推進事業